

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間：2023年4月～2024年3月



発行日：2024年7月16日

株式会社電子印刷センター

目 次

1. 組織の概要	1
2. 実施体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	5
6. 環境経営計画の評価	6
7. 具体的な取組状況	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	8
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果・指示	8

1.組織の概要

①事業者名、代表者名など

株式会社電子印刷センター

代表取締役 宇都宮俊明

創業 昭和41年4月

設立 昭和43年4月12日

資本金 1,000万円

②所在地

(本社・工場)〒874-0011 大分県別府市大字内竈1393番地

③環境管理責任者名および担当部署(人数)連絡先

環境管理責任者	専務取締役	
担当者	管理部 (1名)	} (リーダー)
	生産部 (1名)	
	総務部 (2名)	

連絡先	電話	0977-66-5365
	FAX	0977-66-5383
	メール	info@denship.co.jp

④事業内容

・総合印刷業

⑤事業規模

・床面積 672㎡

・従業員数 19人

活動規模	単位	令和 3年	令和 4年	令和 5年
従業員数	人	23	23	19

⑥事業年度

7月～6月

⑦環境管理年度

4月～3月

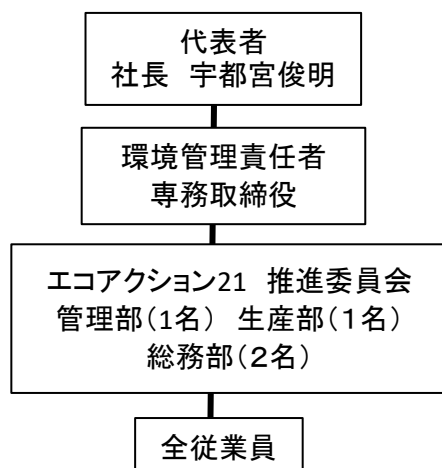
⑧対象範囲

全組織、全活動

2.実施体制

作成日：令和6年7月1日

①EA21組織図



②EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスを確認にする
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・各部門の環境経営目標、環境活動計画、実施体制の確認と全体調整 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
エコアクション21 推進委員会	・環境管理責任者の補佐 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成 ・環境経営目標、環境活動計画の伝達 ・全社の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

3.環境経営方針

■基本理念

株式会社電子印刷センターは地域と共に発展していくために、企業活動を通じて環境の保全活動に目的・目標を定め、その活動に積極的に取り組み、全社一丸となって地域への環境保全責任と役割を果たしていきます。

■行動指針

(1) 二酸化炭素排出量の削減

電気、ガソリン等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

(2) 廃棄物の削減

事業活動に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用に努めます。
一般廃棄物の分別活動を推進して、適切なりサイクルに努めます。

(3) 水使用量の削減

水道使用時の水量を削減し、総排水量の削減に努めます。

(4) 化学物質の適正管理

化学物質の適切に管理し、環境に有害な物質の使用量の削減に努めます。

(5) 地域貢献

地域の清掃活動を実施して、地域に貢献していきます。

(6) 環境関連法規制の遵守

事業に関する環境関連法規制等を遵守します。

社員全員がこの環境経営方針を認識し、全員でEA21に取り組んでいきます。

PDCAを回すことにより、環境経営の継続的改善に努めます。

更新日：2023年7月1日

(制定日：2022年4月1日)

株式会社電子印刷センター

代表取締役 宇都宮俊明

4.環境経営目標

更新日：2024年7月1日

作成日：2023年4月1日

各年度の対象期間は、4月～翌年3月

環境経営 方針の 番号	選択課題	基準年度 2021年度実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量)	29,504 Kg-CO2	29,209 基準年度比 △1%	28,914 基準年度比 △2%	28,619 基準年度比 △3%
1-1	電力消費量 (電気使用量)	56,867 kWh	56,298 基準年度比 △1%	55,730 基準年度比 △2%	55,161 基準年度比 △3%
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量)	2,741 ℓ	2,714 基準年度比 △1%	2,686 基準年度比 △2%	2,659 基準年度比 △3%
2-1-1	一般廃棄物リサイクル 〔古紙、プラゴミ、段ボール〕 (リサイクル率)	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
2-1-2	一般廃棄物排出量削減 〔不燃ゴミ〕	520 (2022年実 kg)	515 基準年度比 △1%	510 基準年度比 △2%	505 基準年度比 △3%
2-2	産業廃棄物再資源化 〔特管物は除く〕 (リサイクル率)	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
3	水使用量 (水使用量)	賃貸のため 把握できない	節水に努める		
4	化学物質適正管理 (化学物質使用量)	適切な管理を 実施していく	適切な管理を実施していく		
5	グリーン購入の推進	エコマーク 商品の 優先購入	エコマーク商品の優先購入		
6	社会貢献への参加 (地域の清掃活動)	実績なし	1回/年	1回/年	1回/年

電力のCO2排出係数は、九州電力調整後係数 2022年の0.407kg-CO2/kWhを使用。

二酸化炭素排出量＝電気使用量×0.407＋ガソリン使用量×2.32

5.環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容

対象期間:2023年4月～2024年3月

評価基準:○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

環境経営方針 番号	選択課題		基準年度 2021年度	2023年度目標 基準年度比 △1%	2023年度 実績	目標 達成率	評価	
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量) Kg-CO2	年間	29,504	29,209	29,081	100%	○	
		評価と 次年度の 取組内容	目標は達成。 下記のとおり、節電による電力消費量の削減がこのような結果をもたらしたと思われる。引き続き、無理のない範囲で取り組む。					
1-1	電力消費量 (電気使用量) kWh	年間	56,867	56,298	54,944	102%	○	
		評価と 次年度の 取組内容	目標は達成。前年度から必要のない電灯などの電源を切ったり、送風機などの使用や効率的にエアコンを稼働できたことが結果として出たと思われる。引き続き、全社員に節電の意識を持って行動に移し、無理の無い程度で更なる省エネに取り組む。					
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量) ℓ	年間	2,741	2,714	2,896	94%	△	
		評価と 次年度の 取組内容	目標は未達成。改善の余地あり。 納品・営業活動等で使用量の削減ができなかった。計画的運用で、使用量の削減に努める。					
2-1-1	一般廃棄物リサイクル 〔古紙、プラゴミ、段ボール〕 (リサイクル率) %	年間	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	100%	○	
		評価と 次年度の 取組内容	目標は達成。引き続き、継続する。 今後も分別を徹底し、リサイクルの推進をする。同時に、排出量の削減も心がける。					
2-1-2	一般廃棄物排出量削減 (不燃ゴミ排出量) kg	年間	520	515	351	100%	○	
		評価と 次年度の 取組内容	目標は達成。引き続き、継続する。 今後も意識して排出量の削減を心がける。					
2-2	産業廃棄物再資源化 (リサイクル率) % 【特管物は除く】	年間	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	100%	○	
		達成率	100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	100%	○	
		評価と 次年度の 取組内容	目標は達成。引き続き、継続する。 機械の稼働計画の見直し等、排出量を削減出来るように努める。					
3	水使用量 (水使用量)	賃貸のため把握できない(節水の表示などで意識付けを行う)						
4	化学物質適正管理 (化学物質使用量把握)	適切な管理の実施をする	適切な管理の実施をする		適切な管理を実施をした		100%	○
5	グリーン購入の推進	エコマーク商品の優先購入	エコマーク商品の優先購入		エコマーク商品の優先購入		100%	○
6	社会貢献への参加	実績なし		田ノ浦海岸清掃		9名参加	100%	○

電力のCO2排出係数は、九州電力調整後係数 2022年の0.407kg-CO2/kWhを使用。

6.環境経営計画の評価

○:できた △:改善の余地あり ×:できなかった

環境方針 の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	評価	今後の取組等
二酸化炭素排出量削減	1-1 電力消費量削減	1. 各作業場ごとに、適切な冷暖房の設定温度を厳守。	○	
		2. OA機器は退社時に電源をOFFにする。	○	
		3. 各機械、空調機などのフィルターを清掃する。	○	
		4. 不必要箇所の照明を消す。	○	昼休みの消灯など、周知をする。
	1-2 ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。急な動作をしない。	△	車内等に啓発内容を表示して、意識づけを推進する。
		2. アイドリングストップする。	△	
2-1-1	廃棄物排出量リサイクル(古紙、プラゴミ、段ボール)	1. リサイクル可能排出物の分別を徹底する。	○	
		2. リサイクル可能ゴミの種別を確認する。	○	
2-1-2	廃棄物排出量削減(不燃ごみ)	1. ゴミの分別を徹底する。	○	
		2. リサイクル可能ゴミの種別確認とその周知を徹底する。	○	
2-2	産業廃棄物再資源化(産業廃棄物) ※特管物を除く	1. 排出物の種別ごとの仕分けを徹底する。	○	
		2. 保管場所を徹底する。	○	
3	水使用量削減	1. 節水シールを貼り意識を喚起する。	○	
4	化学物質適正管理	1. 有害性の化学物質の表示を徹底する。	△	
5	グリーン購入の推進	1. 事務用品のエコマーク、グリーンマーク商品の購入推進(随時)	△	コストを考慮しつつ、検討・購入比率を上げる。
		2. 再生紙の購入推進(コピー用紙・随時)	○	
6	社会貢献への参加	1. 所属団体や公共機関のボランティアに参加する。	○	会社単位だけでなく、各居住地域等の活動に参加するようにする。

〔次年度の重点目標〕

ガソリン消費の削減のために、下記を重点目標とする。

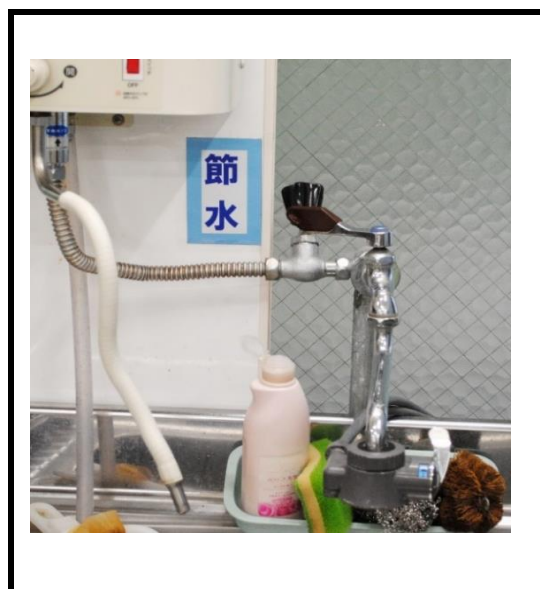
- ・行動(運行)計画を見直し、効率良く行動する。
 - ・配送業者等を積極的に利用する。
- 引き続き、エコドライブを心がける。

7.具体的な取組状況

① CO2排出量削減(電力使用量)



② 水使用量削減



8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。また、指摘、訴訟、苦情等ありませんでした。

	関係法令	チェック項目	チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	1 産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト管理状況確認	工場長	7月1日	○
		2 廃棄物委託契約書	契約書の内容確認	工場長	7月1日	○
		3 保管場所表示、保管基準遵守	現場確認	工場長	7月1日	○
		4 管理票の交付状況定期報告	年間報告提出の確認	工場長	7月1日	○
		5 収集運搬車への表示およびマニフェスト携帯	現場確認	工場長	7月1日	○
2	家電リサイクル法	1 リサイクル料支払い	リサイクル券の確認	総務	7月1日	○
		2 廃棄時の適正処理	引き取り証、領収書などの確認	総務	7月1日	○
3	PCリサイクル法	1 廃棄時の適正処理	引き取り証、領収書などの確認	総務	7月1日	○
4	自動車リサイクル法	1 リサイクル料支払い	リサイクル券の確認	総務	7月1日	○
		2 廃棄時の適正処理	引き取り証、領収書などの確認	総務	7月1日	○
5	下水道法	1 有機溶剤など、誤排水時の関連機関への報告と対応協議（発生時のみ）	発生時事の実施状況の確認	工場長	7月1日	○
6	消防法	1 消火器の設置	設置確認	工場長	7月1日	○
7	PRTR法	1 排出量を把握	管理表で確認	工場長	7月1日	○
8	労働安全衛生法	1 有機溶剤による健康障害を防止	取扱上の注意事項等の教育	工場長	7月1日	○

9.代表者による全体の評価と見直しの結果・指示

実施体制について、特に目立った問題は起きていません。引き続き、役割や責任を理解し行動を望みます。全社員に向けて、定期的（例えば、月に一回）な報告をすると、より一層の意識づけになるかと思えます。

エコアクション活動が会社に浸透して、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の継続と、省エネ活動やペーパーレス化、再生紙の活用等が進んでいると思います。

ここから、さらにエネルギー消費の削減に繋がっていくように小さいことにも目を向けて、積み重ねていって欲しいと思います。

地域・団体等のボランティア活動に参加し、更に地域への貢献を継続してもらいたいと思います。